

第1号議案 2020年度事業報告案(2020年4月～2021年3月)

1. 事業の取組みについて

震災から10年経った2020年は、世界的に新型コロナウイルス感染拡大に見舞われた。コロナの感染拡大防止のために年度当初に予定した催しの多くを見合わせた。多くの避難されている方々が、地域での避難生活を余儀なくされている上に、このコロナ禍と二重の苦難にさらされていたことから、身体面、メンタル面の不調が懸念された。避難されている方々との直接お会いすることができず、ハガキや電話で体調や生活の様子を伺う活動をおこなった。

昨年12月に実施した第12回ふるさとコミュニティ in かながわ開催はADR相談コーナーを設けたところ、数名の方から具体的な相談があり、震災から時間が経過しても、個々の方々の問題が未解決であることや、新たな課題が生じている事がうかがえた。復興庁の統計では、全国の避難者は約4.1万人、神奈川は1,933人(2021.3.30データ)であり、数こそ減ってきてはいる。しかし、全国の避難者のうち、いままで自死された方が240名いたという悲惨なニュースも報道されている。コロナウイルスで直接の支援活動が難しい状況であるが、避難者の孤立をどのよう見つけ、声をかけていくか、ということは10年経ってますます重要なことになっている。

これまでは大規模災害に見舞われても、発災から数年たてば避難元の故郷へ帰還し生活再建が可能となり、避難者または被災者とは呼ばれなくなっていたが、東日本大震災の場合は、歴史上未だかつて経験のない原発事故を併発し、10年目を迎えた段階でも、多くの方々が慣れない地域での避難生活を余儀なくされているのが現状である。

私たちはこのような現実を踏まえ、東日本大震災に対する想いを風化させることなく、これからも身近に避難されている方々と共に生活再建の諸問題に取り組んでいく。

2. 事業内容について

(1) 2020年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援助成事業(福島県補助事業)

・事業内容:

○「第12回ふるさとコミュニティ in かながわ」開催

○会報「ともにあゆむ」発行

※年度計画では「ふるさと交流便運行」「バスツアー開催」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止・非常事態宣言発出などの影響により実行できなかった。

・開催日時・場所: 別掲

・従事者人員: 常勤スタッフ1名

・支出額: 1,177,226円

(2) 2020年度福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業(ふくしま連携復興センター委託事業)

・事業内容:

○相談事業

○県サポ（ヨーガ）お茶っこ開催

○神奈川散歩カフェ開催

※年度計画では「出張地域お茶っこ」「テーマ別お茶っこ」「広域避難者交流バス便」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止・非常事態宣言発出などの影響により実行できなかった。

・開催日時・場所：別掲

・従事者人員：常勤スタッフ 3 名

・支出額：2,632,913 円

(3) 上記事業以外のあゆむ会独自支出

あゆむ会独自資金は 2020 年度のあゆむ会活動に必要な経費、かつ上記 2 事業の経費として認められない科目について支出された。

うち主な支出：ワーハ著作権利用料 450 千円、ひまわりの種 120 千円 ブラザー製プリンタ 32 千円

・支出額：709,234 円

事業内容の詳細については 2—1. 以降の事業実績を参照ください。

**2—1. 2020 年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援助成事業
(福島県補助事業)**

(1) 第 12 回ふるさとコミュニティ in かながわ開催

開催日：12 月 19 日(土)

開催場所：波止場会館 5 階ホール、4 階会議室

参加者：避難者 15 名、復興支援員 3 名（宮城県、福島県富岡町）

日本ヨーガ療法学会 4 名、原子力損害賠償紛争解決センター 4 名、

あゆむ会スタッフ 13 名、オンライン参加 7 個人又は自治体・団体

今回 12 回目の「ふるさとコミュニティ in かながわ」は、コロナ禍で開催が危ぶまれたものの、参加者数を大幅に制限し、感染予防対策を万全に行ったうえで開催した。簡単ヨーガ教室(協力：日本ヨーガ療法学会)、ものづくり体験コーナ



ー、談話スペースでのお茶とおしゃべりコーナー、ふるさとに戻られた方や関係団体及び地元自治体とのオンライン交流会、ADR 相談コーナーの内容で開催された。参加者数は少なかったものの、久しぶりに再会された方々は嬉しそうにお話をされていた。また今回初

めてオンラインによる交流会を実施し、福島に帰還された方、福島で活動する団体の方々など、福島にお住まいの方々と神奈川県など広域に避難されている方々と交流いただくことができた。ADR 相談コーナーで熱心に話を聞く、ご来場者も見受けられた。

(2) 会報「ともにあゆむ」の発行、行事案内およびお知らせ

発送日	会報号	行事案内・お知らせ
8月21日(金)	49号	令和2年度総会開催報告、役員改選のお知らせ コロナウィルス感染防止の取組について、マスクケースの作り方、タケダファームの紹介 伸こう福祉会（他団体）チラシ同封
10月23日(金)	50号	第12回ふるさとコミュニティの開催案内、被災者再建支援金制度の適用のお知らせ、散歩カフェ大船フラワーセンターの案内、マスク一時仮置きケースの作り方
3月27日(土)	51号	あゆむ会・つなぐ会代表の挨拶、コロナウィルス感染症に関する神奈川県、その他自治体の相談窓口の案内 福島県からの避難者に対してコロナワクチン接種手順を記したチラシ（福島県作成）と、避難者の皆様の近況伺い、困りごと相談について伺うハガキとヒマワリの種を同封。



会報「ともにあゆむ」は隔月発行を予定し、あゆむ会とつなぐ会及び協力団体から避難者の方々にお役に立つ情報を発信するものであるが、コロナ禍の状況でほとんどの交流会企画が行われず、発送作業上の制限もあり、今年度の発行は6回予定のうち3回行った。

2-2. 2020年度福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業

(ふくしま連携復興センター委託事業)

(1) 避難者個別相談事業

福島県は県外に避難されている方々が避難先で個別に相談できる「生活再建拠点」を全国26箇所に設置しており、あゆむ会は神奈川の拠点として相談対応業務を行ってきた。個別相談内容に応じて司法書士・不動産業者・臨床心理士等の専門家に繋げた。

来所・メール・電話・郵便はがきによる相談対応

○2020年度実績 相談受付人数：7人 相談受付延べ数：19件

○ハガキによるご様子伺い

- 1回目：5月下旬より6月初旬にかけてあゆむ会に登録されている方々（約400世帯）へ電話・メールでご様子を伺い、連絡がつかなかった方々（162世帯）に往復ハガキでご様子を伺った（回答数33）
- 2回目：10月発行広報誌便（第50号）に通常ハガキを同封し、登録避難者（403世帯）宛に12月「ふるさとコミュニティ in かながわ」へのご参加希望と近況を尋ねた。（回答数約80）
- 3回目：3月の広報誌便（第51号）に通常ハガキを同封し、リモート会議（テレビ会議）を行う方法をご案内することへのご希望と近況を伺った（送付数392世帯、回答数約80）

（2）神奈川散歩カフェ

年度内8回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と緊急事態宣言発出の影響で1回のみ開催した。

開催日：11月21日（土）

開催場所：鎌倉市大船フラワーセンター・
観音寺

参加者：20名（避難者：15名 支援員：3名
スタッフ：2名）



（3）県サポ（ヨーガ）お茶っこ

年度内5回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と緊急事態宣言発出の影響で2回（「ふるさとコミュニティ in かながわ」会場内、同日2回）のみ開催した。

開催日：12月19日（土）

開催場所：波止場会館5階ホール

参加者：1回目 10名、2回目 11名

（4）ふくしま連携復興センター連絡会議の開催

神奈川拠点は全国の拠点と共に復興庁・福島県・ふくしま連携復興センターと連携を取っており、今年度はリモートでの会議・研修会を下記の日程で行った。

第1回定期連絡会議	5月29日（金）～6月6日（土）：書面会議
第1回相談員研修	8月3日（月）：リモート研修

第2回相談員研修	10月13日(火)	: リモート研修
東日本拠点ブロック会議	11月27日(金)	: リモート会議
第3回相談員研修	12月11日(金)	: リモート研修
第2回定期連絡会議	2月19日(金)	: リモート会議

(5) その他

東北大震災及び原発避難により発災から10年が経過するにあたり、ふくしま連携復興センターではそれまで前例のない事象の記録を残し、今後生じる可能性のある災害の対応の参考となり、広域避難者支援に係わる施策となるよう全国の拠点が各地域の広域避難者の声を聴いてきたこと、支援者として何ができたか、課題は何か、今後伝えたいことをまとめた記録誌を作成・発行することになった。

記録誌内の5つのテーマで行った座談会について神奈川拠点はその企画・進行役を他5拠点と共に、6月より記録誌・座談会について延べ12回の会議を経て行った。記録誌の発行は2021年度内を予定している。

2-3. その他あゆむ会と関係機関との協議等

4月8日(水)

～5月6日(水) 緊急事態宣言により活動拠点の支援室使用停止

5月16日(土) 地引網体験交流会開催中止(主催 情報労連神奈川県協議会)

7月4日(土) 会計監査(波止場会館)

7月18日(土) 理事会・総会の開催(サポートセンター講義室I)

7月22日(水) 法務局へ年度事業報告、役員登記手続き

9月10日(木) 広域避難者ミーティング in 東京に参加

(主催 東京ボランティアセンター、リモート会議)

11月13日(金)

～11月29日(日) 市民活動フェア参加(ネット配信)

1月8日(金)

～3月7日(日) 緊急事態宣言により活動拠点の支援室使用停止

1月9日(土) 早稲田大学人文研フォーラム(リモート参加)

- 以上